



# 奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター Nara IDSC  
 （奈良県保健環境研究センター内）



● **今週の概要**

■ 今週の感染症情報

■ 月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（9 月月報） New



（調査週）平成 24 年 第 41 週 10 月 8 日（月）～10 月 14 日（日）

奈良県および二次医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当り	奈良県	北部	中部	南部
1	感染性胃腸炎	1.94	→	→	→	↑
2	RS ウイルス感染症	0.80	→	→～↑	→～↓	→
3	突発性発しん	0.34	→	→～↓	→～↑	↓
4	咽頭結膜熱	0.29	→	↑	→	↓
5	A 群溶連菌咽頭炎	0.23	→～↓	↓	→	↓

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

**県北部地区概況** 上位 5 疾患は、①感染性胃腸炎、②RSウイルス感染症、③水痘、④手足口病、⑤突発性発しんの順。RSウイルス感染症の報告数（20例）は、増加。感染性胃腸炎の報告数（21例）は、横ばい。水痘の報告数（6例）も、横ばい。突発性発しんの報告数（4例）は、ほぼ横ばい。手足口病の報告数（5例）は、ほぼ半減。また、インフルエンザ定点からの報告は、奈良市HCおよび郡山HC両管内共になかった。郡山HC管内眼科定点から、流行性角結膜炎が1例報告された。また、郡山HC管内基幹定点からは、マイコプラズマ肺炎の報告が2例あった。

（村井 記）

**県中部地区概況** 上位 5 疾患は、感染性胃腸炎、RS ウイルス感染症・咽頭結膜熱・突発性発疹、A 群溶連菌咽頭炎・流行性耳下腺炎の順であった。感染性胃腸炎は、41 例と横ばいであり、RS ウイルス感染症は 7 例と減少傾向、咽頭結膜熱および突発性発疹は、各 7 例といずれも横ばいである。眼科定点からは、桜井保健所より流行性角結膜炎 1 例の報告があった。基幹定点からの報告はなかった。

(高木 記)

**県南部地区概況** 報告数(第 40 週→第 41 週)は 24 例→13 例と減少。報告のあった疾患は、①感染性胃腸炎(8 例→6 例)、②ヘルパンギーナ(0 例→2 例)、③RS ウイルス感染症(6 例→1 例)、③A 群溶連菌咽頭炎(7 例→1 例)、③水痘(0 例→1 例)、③突発性発疹(3 例→1 例)、③マイコプラズマ肺炎【基幹定点】(0 例→1 例)であった。

(柳生 記)



## 【月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（9月月報）】

平成24年9月に、奈良県内の定点医療機関より保健所に届出のあった月報告対象感染症の報告数は以下のとおりです。

### ・STD患者数（人）

疾患名\報告月	9月		前月（8月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
性器クラミジア感染症	6	0.67	10	1.11
性器ヘルペスウイルス感染症	3	0.33	2	0.22
尖圭コンジローマ	2	0.22	1	0.11
淋菌感染症	7	0.78	4	0.44

### ・薬剤耐性菌感染症患者数（人）

疾患名\報告月	9月		前月（8月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	47	7.83	20	3.33
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	6	1.00	6	1.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	2	0.33
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0

（感染症情報センター 記）

感染症情報センターホームページアドレス

[http://www.pref.nara.jp/dd\\_aspx\\_menuid-27874.htm](http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-27874.htm)